



ロータリー:
変化をもたらす

Weekly

尾張旭ロータリークラブ



・会長 西尾 輝久 ・幹事 菊田 利昭 ・クラブ会報 加藤 清久
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail: jimu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

2017-18年度 地区方針 「今日からのロータリーを楽しもう！」

本日 第2272回 2017年12月22日(金) No. 2157

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:西尾 輝久会長

点 鐘

担 当 者 : "

ソ ン グ 「思い出のアルバム」

演 題 : 「クラブファーム」

前回 第2271回 2017年12月15日(金) 記 録

職場例会 於愛知県消防学校

担当者:職業奉仕委員会

○ゲスト: 愛知県消防学校 副校長兼総務課長 松田 珠代 様

○出席者: 会員 21 名中 14 名出席 出席率 66.66%
前々回補正出席率 12 月 1 日 100.00%

会長あいさつ 西尾 輝久



本日は、高島職業奉仕委員長のお働きにより、この県の施設の愛知県消防学校内の防災教育センターに訪問し、防災の教育を受ける事が出来、大変ありがたく思います。

又、消防学校副校長松田珠代様には、我々の食事会場の提供を始め、種々の面倒な事をお聞き入れいただき大変ありがとうございます。本日は軽装でと伺っておりますので失礼させていただいておりますが、普段ではめったに体験出来ない事を実行してもらいますので、有意義な一日になると思います。どうか よろしく願い致します。それとこれは心ばかりの物ですが、訪問の記念にどこかに掛けていただければ幸いに存じます。

幹事報告

・12/9(土) 米山奨学生学友合同忘年会 於ホテルキャスルプラザ 山田地区副委員長、古橋エツ子米山記念奨学委員長・カウンセラー 出席

ニコボックス

○出席者全員からいただきました。ありがとうございました。

西尾 輝久君、菊田 利昭君、井田 武憲君
江尻 豪君、加藤 清久君、桜井 雅博君
高島 昇君、谷口 伸夫君、仲澤 昌容君
古橋エツ子君、松永 洋子君、箕輪 良孝君
森井 晴生君、山田 直樹君

職場例会

日 時: 2017 年 12 月 15 日 (金)

場 所: 愛知県消防学校

卓話者: 愛知県消防学校 副校長兼総務課長 松田 珠代 様

疾病予防と治療月間

例 会 予 定	12月29日(金)	2018年1月5日(金)	1月12日(金)	1月19日(金)
	休会 定款6条第1項 による休会	休会 定款6条第1項による 休会	卓話担当者: 岡田 好雅君 卓話者: " 演題: 「私の職歴に ついて」	卓話担当者: 江尻 豪君 卓話者: " 演題: 「雑話」



『愛知県防災教育センターの御紹介』 愛知県消防学校 副校長 松田珠代

今日は、防災教育センターに

ようこそお越しくださいました。このセンターは昭和51年に消防学校内に竣工し、以来40年間、県内外の皆様にご利用いただいています。地元尾張旭市からも自主防災組織や小学校、企業研修などにご活用いただいております。小規模な施設ではありますが、年間3,500人ほどの方にお越しいただいています。

提供しているメニューは、地震体験、消火体験、家具固定器具取り付けや避難所運営ゲームなど7種類あり、様々な体験をしていただくことが可能です。このセンターでは、見学するだけではなく、皆様にご参加いただき、自ら体験する中で色々考えたり、行動を身に付けていただけるのが良いところだと思っています。

後程、皆様にも地震体験をしていただきますが、実際の揺れの中で、いかに無力かを実感していただけることと思います。本日お集まりの皆様は、日ごろから様々な防災対策を実行されていることと思いますが、ご自宅や事業所でこの揺れが起こったらどうなるのか、家具や事務機器は、ガラスは、ご家族や社員、お客様の安全は確保できるのか、また、地震後の早期の業務の復旧にはどのような準備が必要なのか等、想像力をたくましくして考えていただけたらと思います。

最近の災害は、東日本大震災、頻発するゲリラ豪雨や商店街での大規模火災など、私達の予想を上回ることが起こっています。本日の体験を、さらなる防災対策をお考えいただく機会としていただければ幸いです。

さて、折角消防学校にお越しいただきましたので、学校の概要についても少しご紹介させていただきます。

この消防学校は、消防組織法に基づいて愛知県が設置している学校で、現職の消防職員、消防団員等の教育訓練を行う施設です。尾張旭市には昭和39年からお世話になっており、今年で53年目となります。

消防学校の教育の大きな柱が、初任科教育です。県内の消防本部に採用されて1年目の消防職員が入校し、卒業後直ちに火災現場で活躍できる技術と知識を身に付けることを目標に、半年間の教育訓練を行っています。炎天下で防火衣を装着しポンペを背負って行う訓練など、非常に厳しい訓練に耐えて一人前の消防士を目指しています。また、教育は訓練のみでなく、関係法令や救急の知識等の座学も多

く、訓練で疲れた体に鞭打って試験勉強をしています。半年間の訓練を無事終えて卒業式を迎えることは、本人や教官はもちろん、私たち職員にとっても大きな喜びです。

この他、中堅消防職員を対象とした専門課程として、救急科や救助科、火災調査科など11の課程を実施しています。また、消防団員等を対象とした課程もあり、年間約2,700人がこの学校で教育を受けています。

地元の皆様には騒音等でご迷惑をおかけしますが、今後も応援いただきますようお願いいたします。

記念品贈呈



尾張旭ロータリークラブ
名の刻印された掛け時計
を贈呈致しました。

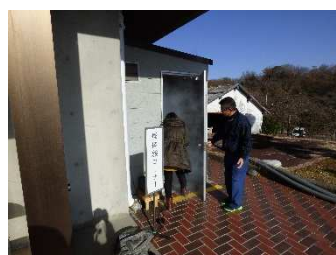
西尾会長（左）
松田副校長（右）

地震体験コーナー



東日本大震災と熊本地震を再現していただき
地震体験を致しました。

煙体験コーナー



火災時を再現し、停電中という設定で暗闇の中の煙体験を致しました。